



特区認定「どぶろく」
などの製造を通じた
地域おこし、交流拡大

米を使った酒類の最も素朴な形態である濁酒は、稲作と同じほどの歴史を持ち、古くから農家の冬の風物として親しまれてきたそうです。10年前より動き始めた構造改革特区、いわゆる「どぶろく特区認定」により、全国では130を超える特区が誕生、生産者自身が育てた米を使って「どぶろく」を製造し、自家に訪れたお客に提供する農家が誕生しました。農家レストランのメニューに「どぶろく」が加わったのです。

それぞれの「どぶろく」の味を求めて人が動き始め、また、「どぶろく」を地域資源として個性的なまちづくりに取り組んでいる地域もあります。

県内でも特区認定により、地域おこし、都市と農村との交流拡大のツールとして、また都会からの移住者の生業として「どぶろく」や地元産品を活用した焼酎、リキュールなどが製造されています。

特集では、「どぶろく」などの製造を通じ、人の輪を広げ、地域の魅力を高める活動に取り組む方々を紹介します。

(研究員 田中伝治)

■表紙のことは

旧津島町(現宇和島市)は、獅子文六の小説で映画にもなった「てんやわんや」の舞台です。そして、町内を流れる岩松川沿いには古い街並みがあり、歴史の面影を残す町でもあります。ここでは、桃の節句の頃には、おひなさま行列や町並み散策など、季節とともにさまざまな催しが開催されています。

そして今、岩松川からの風に吹かれ飲む、ちょっと辛口な「どぶろく」を求めて、ここ岩松に町内外から人が集まってきます。

人々の輪の中には地元の「どぶろく」が置かれ、岩松地区では人と人をつなぐ大切なコミュニケーションのツールとなっています。

柳原あや子



●アングル

「どぶろく」で地域おこし一特区を超えよ

山田 聡昭/酒文化研究所 第一研究室室長(東京都千代田区) 1

●特集/特区認定「どぶろく」などの製造を通じた地域おこし、交流拡大

①「白いも」の復活にかける島人たちの挑戦

秋月 純一/特定非営利活動法人 GOODWILL 事務局
にいほま大島 七福芋本舗 しちふく芋生産責任者(新居浜市) 4

②美味しいどぶろくを味わいに

東温市において下さい
永井 公一/愛媛県東温市 濁酒組合 代表(東温市) 6

③無農薬の柑橘でお酒づくりがしたい

大三島の小さな工房でリモンチェッロ作りをはじめました
山崎 学/株式会社リモーネ 代表取締役(今治市) 8

④どぶろくづくり、ものづくりによる地域づくり

山本 忠志/どぶろく工房 ちょびっと
企業組合内子ツーリズム 代表理事(内子町) 10

⑤nassoは町づくりの道具

兵頭 肇/岩松町並み保存会 代表
企業組合いわまつ 代表理事(宇和島市) 12

⑥私達のふるさとの味がする

「奥四万十どぶろく きほく」
芝 照雄/企業組合「ひろみ川」 副理事(鬼北町) 14

●特別企画

へんろ道沿いの風景 【夏編】 16

●キラリ光るまち

「夜のよして」どぶろくを飲んでいただければ…
栗原 義久/農家民宿 いちご一会(長崎県南島原市) 18

●TALK NOW

行政のまちづくりに向けての支援制度について
佐川 功二/愛媛県企画振興部 地域政策課 専門員 20

●研究員卒業レポート

地域づくりを模索した三年間
岡田 浩人/全国農業協同組合連合会 愛媛県本部 22

●特選ブログ/shin 1さんの日記

地域に根ざしてきた酒文化の再興
若松 進一/人間牧場主・年輪塾々長 24

●“MY TOWN”うおっちゃんぐ

福寿醤油に“鳴門鯛”の撫養街道
岡崎 直司/タウンツーリズム講座主宰・ヘリテージマネージャー 26

●Information

平成27年度に出展予定の移住交流フェアのご紹介
私達のセンターを活用下さい 28